



第6回 京都大学－慶應
義塾大学合同シンポジウム



美学の進化的基盤

日時: 2013年2月17日(日)午後1時～3時

場所: 京都大学こころの未来研究センター

京都大学稲盛財団記念館3階 大会議室

<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/jp/about/access.html#center>

テーマ: 美学の進化的基盤 **【公開シンポ: 入場自由】**

企画司会: 子安増生(京都大学大学院教育学研究科教授)

話題提供: 渡辺 茂(慶應義塾大学文学部教授)

話題提供: 齋藤亜矢(京都大学野生動物研究センター特定助教)

指定討論: 藤田和生(京都大学大学院文学研究科教授)

開催趣旨: 京都大学と慶應義塾大学は、グローバルCOEの5年間において毎年合同シンポジウムを開催してきたが、この連携は、2012年3月のプロジェクト終了後も、可能な限り、引き続き継続していく方針であり、今年度は京都大学で「美学の進化的基盤」というテーマで合同シンポジウムを開催するものである。渡辺茂先生は、『ピカソを見分けるハト』など、鳥類の絵画認識能力のご研究で著名である。齋藤亜矢先生は、東京藝術大学大学院美術研究科博士課程修了で「描画行動の発達と表象描画の起源－ヒトとチンパンジーの比較」など、霊長類の描画の研究を行う新進気鋭の研究者である。指定討論には、広く生物にご関心と造詣の深い藤田和生先生にお願いした。

お問合せ: 子安増生 HGB03675@nifty.com